

日本労働社会学会 公開シンポジウム

「若者の就労と労働社会の行方」

90年代より若者の雇用についてはワーキングプア、ニートなどの切り口から非正規雇用を中心に取り上げられてきたが、近年は「ブラック企業」論に見られるように正規雇用においても雇用の劣化状況が広がってきている。現在の若者の就労状況、これに対する政策動向、雇用労働の劣化に対抗する社会運動など、若者の雇用を核に全体を俯瞰し分析する議論が必要になっている。

こうした議論を深めるために、本シンポジウムでは、①正規雇用（今野報告）、②非正規雇用（伊藤報告）、③運動（山崎報告）、④政策（阿部報告）の4つの視角を設定した。討論を通じて、以下の諸点について検討を深めていきたい。

- 1) 現代の若者の就労の特徴：どのような特徴があるか？どのように変化したか？何が質的に新しいか？
 - ・ 雇用形態別（正社員/非正規雇用）
 - ・ 学歴別（大卒/高卒）
 - ・ 性別（男性/女性）
 - ・ 地域別（大都市圏/地方圏）
- 2) 若者の就労をめぐる問題への取り組み：どのような運動が見られるか？どのような変化が見られるか？何が質的に新しいか？その背景は何か？担い手は？
- 3) 若者の就労をめぐる政策のあり方：政策の特徴は？どのような変化が見られるか？政策の有効性は？ 政策の限界・問題は？
- 4) 運動と政策への示唆として何が導かれるか？

日時： 2014年10月26日（日） 9：30～16：00

場所： 駒澤大学駒沢キャンパス1号館202教室

参加費：無料

報告：

- 1) 9：30～10：15 今野 晴貴(NPO 法人 POSSE 代表、一橋大学大学院博士課程)
若年正社員における近年の変化—新しい雇用類型に着目して
 - 2) 10：15～11：00 伊藤 大一(大阪経済大学)
変化する労働社会と非正規雇用
 - 3) 11：05～11：50 山崎 憲(労働政策研究・研修機構)
労使関係システムの再編成と新しい労働組織—アメリカの経験から
 - 4) 11：50～12：35 阿部 誠(大分大学)
若者就業問題の多様性と社会的包摂にむけた政策の課題
- 13：45～14：00 コメント 木本 喜美子(一橋大学)
- 14：00～16：00 討論

日本労働社会学会 <http://www.jals.jp/>

問い合わせ先：大重 kooshige@dokkyo.ac.jp